

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	シルバー人材センター運営費補助事業				会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	横山 友二					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公益社団法人 流山市シルバー人材センター	意図	高齢者の就労の場の拡大を支援する。					
事業内容	公益社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に従い補助金を交付している。								
事業開始から現在までの状況変化	厚生労働省通知のシルバー人材センター事業執行指針に従い補助金を交付してきた。平成22年国会での事業仕訳の際に民業圧迫するとの判断から、補助金が減額され、市もこれに従い補助金を減額した。平成23年度に社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱を作成し判断基準を定めた。なお、同法人は平成24年4月1日に「社団法人」から「公益社団法人」へ変更している。								

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 会員登録数（年度末）	740	727	738	人	→→	
	② 事業受益実績（公共）	386	428	408	件	↑↑↑	
	③ 事業受益実績（民間）	5,181	5,461	5,426	件	↑↑↑	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 公益社団法人流山市シルバー人材センター運営費補助金交付要綱に従い補助金を交付することにより、高齢者の就労を支援している。 また、事業受託実績は上昇傾向にあり、自主事業の向上努力が見受けられる。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,149,350	9,145,500	9,176,500			
事業費(b)(円)		8,800,000	8,800,000	8,800,000			
うち一般財源		8,800,000	8,800,000	8,800,000			
職員給与費(c)(円)		349,350	345,500	376,500			
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	事業拡大に向けた指導・助言を実施していく。特に介護保険制度における訪問型サービス事業の参入について支援していく。	③取組の課題	高齢者の就労環境は非常に厳しく、高齢者就労支援のためにシルバー人材センターの補助を継続する。
②今年度(H27)に実施した取組	介護保険制度における訪問型サービス事業の参入について支援を行い平成27年度から事業に参入した。	④今後の改善計画	引き続き、事業拡大及び会員の就業率向上を図るため指導・助言を実施していく。